

メキシコ合衆国

首都：メキシコシティ

人口：約 1 億 2,601 万人

平均年齢：約 29 歳

面積：約 196 万 4,000 km² (日本の約 5 倍)

言語：スペイン語、その他 68 の先住民族言語

宗教：国民の約 8 割がカトリック



歴史：3000年以上前にその起源をさかのぼるメソアメリカ文明圏の一部に、現在のメキシコ合衆国があります。オルメカ文化、マヤ文化、アステカ文化などが栄えた同地では、1521年にアステカ帝国の首都テノチティトランが陥落し、スペインの副王領(ヌエバ・エスパーニャと称されます)となります。300年続いたスペイン支配から、1821年に独立を果たします。その後、1910年から約7年続くメキシコ革命などを経て、現在では世界第15位の経済規模を誇る国家となりました。

日本との両国関係：日本とメキシコの友好の歴史は長きにわたり、その起源は今から400年以上前にさかのぼることができます。1609年、ヌエバ・エスパーニャ出身のドン・ロドリゴ・デ・ビベロが赴任地フィリピンから国へと帰国する途中、乗っていた船が難破し現在の千葉県御宿町の沖に漂着、地元の海女や住民に救助され手厚い看護を受けたのです。そして翌1610年には徳川家康の指示で提供された船で帰国を果たしています。時を経て1888年には、列強諸国からの不平等条約に悩まされていた明治政府と、西洋諸国として初めて平等条約を締結し外交関係が始まりました。それから今日まで、経済協力を基盤とし、政治、文化、学術、科学、観光など様々な領域で二ヶ国関係を深めています。また、メキシコにとって日本は、世界第5位の貿易パートナーであり、電気機器はもちろんアボカド、アスパラガス、豚肉、カボチャといった毎日の食卓にのぼるような食材も多く日本へ輸出しています。

文化：紀元前から続くメソアメリカ文明圏のレガシーである先住民文化、16世紀から19世紀にわたるスペイン支配によるヨーロッパの影響、その他中東やアフリカ、アジアからの移民の存在が混淆するメキシコの文化は、多様性と時間・空間的な奥行きを有する唯一無二の文化です。世界遺産登録件数ランキングで7位、外国人観光客受け入れ数第7位の実績からも分かるように、古代遺跡やコロニアルシティ、現代建築や豊かな食文化など文化の奥深さを感じることができる国です。また、大使館シェフの監修のもと在日メキシコ大使館が作成したメキシコ料理集も無料で提供していますので、下記QRコードからチェックしてみてください。



ジェンダー平等、LGBT+の取組み：メキシコはジェンダー平等を目指す取り組みを国家規模で進めています。ジェンダーギャップ指数の最新のスコアによるとメキシコは総合で 34 位ですが、近年ますます多くの女性が政界や経済界へ進出しており、国会議員の女性議員数は全体のほぼ 50%を占めます。また、メキシコはLGBT+コミュニティの権利保護についても積極的です。メキシコ全 32 州のうち半数以上の州で同性婚が認められており、その他トランスジェンダーの性自認を尊重するための様々な法整備も進められています。

千代田区におけるメキシコ：千鳥ヶ淵公園には、メキシコ人彫刻家セバスティアンの作品「移住」が設置されています。これはメキシコへ最初の日本人移民団が派遣された百周年を記念して、1997年にメキシコ政府から日本政府へ贈呈されたものです。千鳥ヶ淵公園を訪れた際にはぜひ探してみてください！

在日メキシコ大使館 SNS をぜひフォローをお願いします。



ペジャス・アルテス宮殿



民族衣装を着た女性たち



チツェンイツァー遺跡